

平成23年度 鯖江市国際交流協会 事業計画（案）

会員の皆様には、日頃鯖江市国際交流協会にご理解とご支援を頂きまして、心より御礼申し上げます。

さて、昨年度は、会員募集条件の変更を致しましたが、会員数は、減少しております。昨年度は、ポスターを公民館や学校にも配布し貼って入会を募集しております。その成果は若干出てきておりますが、まだまだPR不足と反省しております。

地域に出向き外国人による懇親会などを開催して、市民に入会を促す活動を更に、PRしてまいります。

外国籍児童・生徒サポート事業も最終年度となりますが、その中で、サポーターのお二人さんには大変なご苦勞をお願いしております。現在では、各学校からの期待も大きくなってきています。

保護者との連絡、児童・生徒の日本語の基礎学習、日本生活などのケアをしています。

これらの事業が継続事業として計画されることを願ってやみません。

昨年度は、鯖江市、福井市、越前市の国際交流協会が福井県教育委員会に「外国籍子女、高校進学で、入試要件緩和の要望書」を提出しました。多文化共生時代に出遅れたわれわれの活動も、一歩前進しましたが、まだまだ、問題も残っておりますので対応して行きたいと考えています。

また、総会の第二部のイベントとして、実際に現場で活動されている「外国籍児童・生徒サポーターの現状報告」と題しまして北川と星が発表させていただきます。

これにより、どのように外国人と会話を含めたコミュニケーションが取ったらいいのか習得できれば幸いに存じます。

ふれあい委員会、まなびあい委員会、ささえあい委員会、事務局、外国籍サポーターの活動に会員皆様のご理解、ご支援を頂きながら、いまより一歩先に前進した活動にして行きたく頑張りますので、よろしくご支援、ご鞭撻をお願いします。